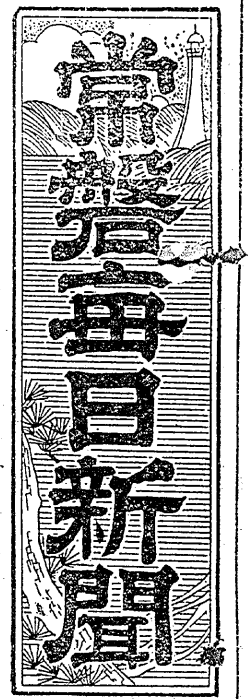


刊夕 日八廿月八



定価 一部金五銭 毎月金五拾銭 郵費五銭
廣告料 五銭十部 一紙 一行金五拾銭
日曜祭日の翌日休刊
発行所 常警日新聞社
印刷所 常警日新聞社

山雀 (中)

先村生

歸途私は絶えず小鳥のこ
とを考へてゐた。ギルバ
ト・ホワイトやダブルユ
エイチ・ハドソンの書物の
中で垣間見は小鳥の世界が
今や私のものとならうとし
てゐるのである。デイギツ
ド・ガアネットの小説の中
に自分の家を鳥籠にして小
鳥と一緒に生活してゐる老
牧師の姿が描かれてゐるが
私の椅子のぐるりにこの山
雀を遊ばせながら勉強する
といふ様な不思議なことが
勤くとも明日から實現せら
れるのだ。山公、中西君の
やうに僕にもなつてくれ
るだらうか。翌朝、目をさ
ますと直ぐに摺篋を作りチ
イヨ、チイヨと盛んに跳ね
廻つてゐる山雀の籠のとこ

ノート

馬鈴薯の
芽は必ず
除けとい
ふのは此の芽の中にソラ
ニンと云ふ毒素を含有し
てゐるからだ

ろへ持つて行くと機嫌よく
食べてくれる。終に意を決
して鳥籠の戸を開いた。山
雀はちよつと机の上に足を
下したが、次の瞬間にはカ
アテンの上に行き、それか
ら山下さんの油畫の縁にと

まつて何かしらコソコソと
やり出した。その次には本
箱の飾棚の上にあるものを
一つ一つ啄いて見た上、ひ
よいと飛んで今度は反対の
側にあるカアテンの上に棲
つた。全身鼠と茶褐色頭だ
けは白茶で目の上と顎は
（嘴の下）から二筋の黒い條
が横に走つて、翅のところ
までつゞき頭の巔に少しば
かり白茶色のところを残し

明日の献立

【朝】 味噌汁 若芽 小
付 煎り玉子
【晝】 煮付 一ひしき油揚
【晚】 コロッケ 馬鈴薯
牛肉 玉ねぎ 酢のも
の かに マヨネー
ズかけ

てゐる。小さい雀のやうな
ものであるが嘴が細く雀よ
りも精悍で、體軀が引き締
つてゐる。何かに興奮する
と前額の毛を逆立てて一寸
角度のついた頭を愛嬌のあ
るものとする。それからチ
ユチユツと叫びながら目的
のものに向つて一直線に進
む。

短歌

齊藤 みつ子
友は皆嫁ぎ行きけるころ

ならん學窓いで、四年は
過ぎぬ
我病めばなれぬ手に一人
いそぐと欲事したまふ
父上あはれ
飛行機の爆音にさへ胸震
ふ血を咯さし日の弱きこ
の我

目覺れば眼は眼は
か
ら左手の注射のあとをい
としみ見るも
かくれ逢ふ母にてあれど
現世に持てるをわれは幸
とする

つかみ得ぬ心は淋し今日
はまた腹はへらねど蕎麥
喰ひて見る
煮え粥の香り淋しき部屋
に臥し真青き空につばめ
飛び見ゆ
病み果て、細りし腕をさ
すりつゝ、遠き都の友を偲
べり

来る年も来る年も亦また
そのまゝに打ち過ごして
や吾老ひて行く
いざさらば雄雄しく行け
よ我子よと港に送る母の
眼うるむ
大空の心地よさゝの濱に
立ちわびしさをわすれて嘯
ぶきにけり
若緑茂れる中に慰ひして
その氣身にしみ心なごみ
ぬ
食膳の運び早しと病む我
は今日も思はず祖母をし
かりぬ

外科 内臓 外科

レントゲン線

醫學博士 諸橋 鐵彌
◎新川町二七(電四六四)

貨切の御用命

ぜび・三井自動車部へ!!!
電話六八五番

◎乗合は好問、合戸、澤渡方面行

氷は魚清!!

氷の御用命は
電話四六七番へ
平町二丁目警察署通り
魚清氷卸部
支店 江名町築港内
電話六九番

幼稚園保姆採用

一、資格 高女卒業の方 壹名
一、希望者は履歴書をお送り下さい。
面會日をお知らせ致します。
平町十五丁目二六
私立 清風幼稚園
認可

久全屋商店

磐城セメント會社特約店
磐城平町五丁目 電話九番九九番

松村 胃腸科 性病科

夜間診療
胃腸病科 性病科
皮膚科
院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

体温計の検査日です

10日 検新 機設 お宅の体温計は?
◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい
度量衡 指定販賣人 西村屋藥局
計量器 電話三番

一名に一人

平町の簡保契約者

素晴しい加入成績

平郵便局の簡易保険契約高は昨年四月より設置された健康保険相談所の加入者に対する無料診断並に年二回全局員を動員して行

八十名、契約高百八十五萬七千七百七十六圓七十錢を算し市民二名の内一名は加入者と云ふ好成绩である

加入者大募集が効果を奏し現在同局の成績は平、好間、平窪、神谷、飯野、高久の一町五ヶ村に二萬千三百十一名の加入者を有し此の契約高二百六十七萬七千四百七十六圓九十錢の巨額に達して居るが同局では本年度加入者を二萬二千名に増加せしめる計劃にて更に今秋全局員を督し

大募集に着手する筈である、尙現在管内加入者の町村別成績は左の如く平町が筆頭で加入者一萬四千

八十名、契約高百八十五萬七千七百七十六圓七十錢を算し市民二名の内一名は加入者と云ふ好成绩である

白米騰る

米暴動の時と

四圓の値開きに接近

事態憂慮さる

平米穀商組合では白米小賣値を一升三十錢、一俵十二圓に値上げし市民を驚かしたが平米穀検査所管内の最近に於ける米市況に依り郡下の農村では昨年一俵

七圓九十錢前後の安値に氣を腐らし擧つて政府の買上を應じ郡下の指定倉庫には現在四千俵近くの買上米が貯蔵して居るに依り米市況は極めて緊迫を來す爲め七月下

平小鐵道の實現猛運動

低資の財源で

小名濱町都市計劃實施

小名濱町では昨報の如く九萬圓の政府低利資金の借入れが決定したので町當局ではこの低資によつて現在の

運動方法を協議決定する

新らたに六千坪埋立すると同時に鐵道引込線を設置また東北有数の町營市場を建設する外、多年の懸案であつた町營火葬場の工事に着手する等都市計劃法の適用實施による名實共に備つた大小名濱の

建設に邁進するのであるが更に立消えとなつた「平小鐵道」を此の際には非でも明年度から建設に着手するやう鐵道當局に對して猛烈な運動をすることになり近く緊急町會を招集して

句迄一俵八圓前後の白米が本月初旬には九圓となり廿日頃からは十圓八十五錢の高値を唱へ今回更に前記十二圓の騰登りとなつたもので去る大正六年米暴動當時は一俵十六圓であるから現在の平市況とは未だ四圓の値開きを見せて居るが此の分で行くと四圓の差は忽ち追付く模様であり遂に深刻な生活苦より出發して問題化するに至るのではないかと憂慮されて居る

体操講習

けふから開催

既報本日より三日間平第一第二及び平南各校庭で開催される体協石城支部主催の

血盟團事件

四名は死刑

本日死刑

血盟團事件第一回公判は本日二十八日午前九時四十分から東京地方裁判所に於て開廷木内檢察官から井上日召以下各被告に左の如く求刑あつた

- 死刑 日召事 井上 昭(兜)
- 元訓導 古内榮司(三)
- 同 農 小沼 正(三)
- 同 農 菱沼五郎(三)
- 無期懲役 元東大學生 四之 義隆(三)
- 懲役十五年 同 學生 池袋正三郎(三)
- 同 十年 同 學生 久木田祐弘(三)
- 同 十年 元國學院學生 須田 太郎(三)
- 同 十年 元東大學生 田中 邦雄(三)
- 同 十年 元京大生 田倉 利之(三)
- 同 八年 元京大生 森 憲二(三)
- 同 八年 農 黒澤 大二(三)
- 同 七年 建築業 伊藤 廣(三)
- 同 六年 元京大生 星子 毅(三)

更生躍進を

鎮守の境内で宣誓

渡邊村の協力一致

九年度經濟更生村に指定された渡邊村では左の如き日割で各部落毎に更生指導會を開くが當日は各戸一人宛の出席を求めてさきに同村更生委員が慎重なる準備の下に教化、金融、生産の各部門に互り樹立した更生計畫の内容につき更生委員から詳細なる説明あつて後同村鎮守の境内で計畫を奉じ部落民協力一致して一途更生に邁進する旨の宣誓式を行ふ筈で郡駐在米山技手が臨席指導する

（二十九日）午前中釜戸區長宅午後釜戸分教場（九月十六日）松小屋實行組合事務所

新綴方座談會 昨日より平第一小學校講堂に於て開催された石城教育會主催の新綴方講習會は本日午後二時より第二小學校作方室に於て講師栗原登氏を中心として座談會を催した

磐中水泳棄權 既報磐中水泳部では来る三十、三十一の兩日福島高商主催の下に同校プールで開催される近縣中等學校競泳大會に出場の爲め猛練習中の處近く水戸方面に遠征する事になつたもので今大會は棄權した

玉川校同窓會 玉川村小學校同窓會は二十五日午前九時から同校に開催、會員の意見發表、餘興等あり出席者百名盛會であつた

南洲翁講演會 南洲翁講演會は本日午前九時より第二講堂に於て支

夏季、換講習會は本日午前九時より第二講堂に於て支

同 六年 元京大生 星子 毅(三)

同 七年 建築業 伊藤 廣(三)

同 八年 元京大生 田倉 利之(三)

同 十年 元東大學生 田中 邦雄(三)

青年野球

七日に組合せ

既報平町青年團主催各分團對抗軟式野球大會の出場申込締切期日は來月五日で同七日午後七時よりマルトモホールに於てキャプテン會議を開き組合せを決定する

由

南洲翁講演會

夏季、換講習會は本日午前九時より第二講堂に於て支

苦悶の形相物凄く

水浸し三個の死體

八日目のけふ発見さる

相擁したまふ既に腐爛

川瀬炭礦の排水進む

既報—三名の犠牲者を出した赤井村川瀬炭礦の坑内出水は其後炭礦側が連日に亘つて排水作業を繼續し屍體発見に努力中の處今二十八日午前五時坑口より直下七百尺の探炭箇所相擁したまふ苦悶の形相物凄く水の犠牲となつた中村勇吉(三)古川吉五郎(五)李斗範(三)の腐爛屍體を發見、坑外に搬出したが二十一日の出水騒ぎ以來八日目で漸く屍體を搬出し得たわけである

二三日中に

採炭着手

一時は瓦斯

發生の危険

犠牲者の慰靈祭

別項—川瀬炭礦では舊盆の公休も廢して一分間五十五立方米のポンプ二臺を備付け排水作業を行ひ二十七日朝殆んど死體を收容するばかりになつた際突如換氣の不完全に有る毒ガスが發生し

二鳥人の表忠碑

除幕式日變更さる

大角海相臨席正式決定

既報—江名町字永崎地内海岸で空しく散華した二鳥人増田、島田兩少佐の表忠碑除幕式は来る九月二十四日舉行の豫定であつたが工事

陸上機二機飛來し高等飛行を試みるので松竹ニューズ班が特派された式の模様その他をトキに撮影する筈

街の探偵

けふ表彰

木村病院捕賊功勞

既報—去る二十五日午前四時頃平町大町木村病院に侵入せんとした強盜竹崎秀夫(三)を協力逮捕した同院雇猪狩吉彌(六)さん飯野村阿部忠衛君(七)阿部勝君(三)の三名は民間捕賊功勞者として今二十八日刑事協會支部長横山平署長から金一封を添えて表彰された

畑荒しの

老賊結審

餘罪も判明

既報詳馬縣確水郡板鼻町字板鼻三〇一一生れ當時内郷村大字小島字作田四木村廣吉氏方日雇前科七犯内田鶴吉(七)が去る七月二十日午後九時頃好間村大字下好間大館地内馬鈴薯畑に於て同村吉田水好氏所有の馬鈴薯約



今晩は北西の風 晴明日は南西の風 風晴曇半す

今晩の部

後六、〇〇 子供の時間
「齋唱と合唱」
J.O.A.K. 唱歌隊
後六、二五 趣味講座「詩歌を思ふ心」白鳥省吾
後七、三〇 趣味の話「藝談十二選」(七)
會我廬家五郎

明日の部

後八、〇〇 歌謡
後八、三〇 歌澤寅滿喜
落語—大山ま
あり
後八、五五 常磐津一八犬
傳の勇猛
常磐津和佐太夫外
後九、三〇 時報—ニュー
ス 氣象通報 番組豫告

構造社展に入選

年齢二十四の天才

鳥越君の木彫「盆踊り」

平町鷹庄町鳥越仁君は九月一日から美術シーゾンの開幕を飾つて東京府美術館で開かれる構造社展に木彫「盆踊り」外一点を出品したが搬入二百二十三点中入選二十九人(四十四点)の嚴重な審査にも係らず見事入選した

山城屋夫人

平四丁

目山城屋雜貨店主江尻淺之助氏令閨メ子夫人は病氣中の處廿六日遂に逝去昨日午後二時自宅出棺性源寺に於て葬儀執行會葬者多數あり頗る盛儀を呈した

裁判所たより

△山形縣南村山郡堀田村大

況川頂より中繼

後二、五〇 野球試合實況
ハート對明大神宮より中繼
後六、〇〇 子供の時間
お話「南島の輝き」立石尚純

武道の豪の者

冷汗ダラダラ、の事
平署の高松、管家兩巡查はけふ盆踊りの與太者襲撃事件被害者として司法主任渡邊警部補から「生年月日は?職業は?」と型の如く取調べを受け「成程調べられる氣持は薄氣味悪いもんだナ」と流石武道の豪の者も冷汗ダラダラ、今後立小便おとがめ等お手柔かになるであらう事保證の限りにあらず

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女 中 二十前後 尋卒
月十圓
△鍛冶工 四十以下 尋卒
給料歩合
△荷上夫 三十迄 日給一圓面談
△配達夫 卅五才 尋卒
給料歩合
回職を求める方
△職工 廿一才 農學卒
給料面談
△事務員 廿五才 中學半退 給料面談

近斬首頭

(續前上段及上巻)

田邊南龍(作)
山本英春(筆)

一一九:

役人の頭を打つ
『そんな無理を云つたつて仕方がない、マアお酒をお飲み』

『有難う存じます』
『時に御亭主が居ると兎角遠慮をして居る、御亭主は引退つて太平さんに任して置き』

『左様なら引取りまするが何卒粗相でもございましたら幾重にも御詫を……』
亭主は心配しぬく出て行く後で太平は飲んで居りましたが猪口では飲んだやうな心持がいたしませんから、その盃洗を拜借いたしたいもんで』

盃洗に注いで貰つて飲んで居る、時に長兵衛が
『太平さん、お前極道々々といはれて叔父さんところの腰を噛ちつて居ると云ふのは何か仔細があるだらうお前この土地の者ぢやアないのか』

『ヘエ備前岡山在の大鳥居と申すところで親父は名主の太左衛門と申しましてその伴太平と申します』
『阿父さんのところを失策つて此家に厄介になつて居るんだな』
『左様でございます』
『餘り大酒を飲みから』



『さうか三道樂の内になげりやならないが、女でもなく、酒でもないから打つんだらう、天下の寶を取扱ふんだから悪くねえもんだ、田地田畑を打つたんだらう……』
『役人の頭ア打つたんでござえます』
『大變な違ひだ何うしたんだ』
『お話しをいたしますが、昨年夏の事でございます、村の若い者と私が野良へ出て居りましたところへ、郡奉行の役人が参りまして被り物を取れと申しますから、外の者は被り物を取りました私が私は被り物を取らなせ取らんと申しますから被り物を取りますと霍亂をされる震亂をされると稼業が出来

つて居た鐵で一人の頭アどやしましたら、キヤツと云つて死にました、また一人掛つて來ましたから私が鐵で横に拂ひますと、腰ツ骨を拂はれて其奴が倒れました』
『それから何うした』
『三人目に掛つた奴を打たうと思ひますと、柔術の先生で何處へ手が掛つたか覚えてませんが水田の中へ打込まれ埋まる程深く打込まれましたから、逃げる事が出来ませんでした遂々捕はれて牢に入れられ、翌朝になりましてモツン一飯といふのが一つ來ました、モツン一飯の代りを呉れと云ひましたら、獄則だによつて代りを遣る事は出来ねえ、ツモン一飯の代りをする奴があるものかと叱られました』
『それから何うした』
『阿母さんに逢ひたいと思つても出る事は出来ず、飲みたい酒も飲む事が出来ませんから、私御牢内でえものは詰らぬものだと考へました』

『さうか三道樂の内になげりやならないが、女でもなく、酒でもないから打つんだらう、天下の寶を取扱ふんだから悪くねえもんだ、田地田畑を打つたんだらう……』
『役人の頭ア打つたんでござえます』
『大變な違ひだ何うしたんだ』
『お話しをいたしますが、昨年夏の事でございます、村の若い者と私が野良へ出て居りましたところへ、郡奉行の役人が参りまして被り物を取れと申しますから、外の者は被り物を取りました私が私は被り物を取らなせ取らんと申しますから被り物を取りますと霍亂をされる震亂をされると稼業が出来

つて居た鐵で一人の頭アどやしましたら、キヤツと云つて死にました、また一人掛つて來ましたから私が鐵で横に拂ひますと、腰ツ骨を拂はれて其奴が倒れました』
『それから何うした』
『三人目に掛つた奴を打たうと思ひますと、柔術の先生で何處へ手が掛つたか覚えてませんが水田の中へ打込まれ埋まる程深く打込まれましたから、逃げる事が出来ませんでした遂々捕はれて牢に入れられ、翌朝になりましてモツン一飯といふのが一つ來ました、モツン一飯の代りを呉れと云ひましたら、獄則だによつて代りを遣る事は出来ねえ、ツモン一飯の代りをする奴があるものかと叱られました』
『それから何うした』
『阿母さんに逢ひたいと思つても出る事は出来ず、飲みたい酒も飲む事が出来ませんから、私御牢内でえものは詰らぬものだと考へました』

つて居た鐵で一人の頭アどやしましたら、キヤツと云つて死にました、また一人掛つて來ましたから私が鐵で横に拂ひますと、腰ツ骨を拂はれて其奴が倒れました』
『それから何うした』
『三人目に掛つた奴を打たうと思ひますと、柔術の先生で何處へ手が掛つたか覚えてませんが水田の中へ打込まれ埋まる程深く打込まれましたから、逃げる事が出来ませんでした遂々捕はれて牢に入れられ、翌朝になりましてモツン一飯といふのが一つ來ました、モツン一飯の代りを呉れと云ひましたら、獄則だによつて代りを遣る事は出来ねえ、ツモン一飯の代りをする奴があるものかと叱られました』
『それから何うした』
『阿母さんに逢ひたいと思つても出る事は出来ず、飲みたい酒も飲む事が出来ませんから、私御牢内でえものは詰らぬものだと考へました』

花柳科 外科 専門
木村外科醫院
自炊入院の便あり
平町六丁目橋際
電話三〇九番

お醤油は……ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町(電話營業部三醸造工場)
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

醬油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

吉田眼科病院
平糞屋町電話六八番
醫學士 吉田 久雄

米國製劑皮膚病良藥
レメドール
子宮あたゝめぐすり
宮 温 湯
丹波博士創製セキドメ
たんはあめ
靈藥ムテキ

ハタケ、ヤケド、キリキズ、タムシ
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙な
うまくてセキかヨクトマ
ユビハレ、ヤケド、キリキズ、淋病、梅毒、乳ハレ、すべて化膿したものを切らずに癒る

開業 石炭
一俵十八錢ヨリ
多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。
平町十五丁目
エビスヤ燃料店
電話 四六番
東洋火災保險株式會社平中代理店

特約 三菱ノ……
菊菱號自轉車
(全部マークス) 實用堅牢車
平局御用 **エビスヤ自轉車店**
平南町 電話六六四番

阿康藥舖
縣社ノ下 電話四四番
平町古銀治町一〇